

# 秋田市人口ビジョン改訂概要(目指すべき将来人口)について

**【改訂の方向性】5年後に社会増を達成し、その後、転入超過が続くと見込み、2040年に約27.5万人を目指すシナリオとする**

中長期展望  
(対象期間2060年まで)

令和3年3月改定  
(2021.3月)

基本データ  
H27国勢調査  
H30社人研推計

### 【現状】

- ・H30社人研推計では、本市人口は減少傾向にあり、2015(H27)年の約31万5千人が、2040(R22)年には約24万5千人と、前回推計よりも約9千人上回る緩やかな減少にとどまると推計。  
また、2045年(R27)には約22万5千人と推計。
- ・自然動態は死亡数が出生数を上回る自然減が続いており、年々その傾向が強まっている。
- ・社会動態は高校や大学等の卒業に伴う転出が顕著である。
- ・人口構造の面では、年少・生産年齢人口が減少し、老年人口は増加している。  
⇒老年人口割合…2040(R22)年約44%、2045(R27)年には約47%に達すると推計

### 【本市人口の将来展望】

<仮定>  
合計特殊出生率：2030年に1.8(※1)、2040年に2.07を達成(※2)(国と同じ)  
※1国民希望出生率(若い世代の結婚・子育ての希望が実現した場合の出生率)  
※2人口置換水準(長期的に国全体で人口が安定するために必要な出生率の水準)  
純移動率：2020年から2035年にかけて、5年ごとに1/2ずつ改善し、2040年以降は、転入・転出が均衡する。

<目指すべき将来人口>  
**【維持】2040(R22)年に約26万人達成を目指す**

(参考)国・県人口ビジョンにおける目標等  
国：2060(R42)年に総人口1億人程度を確保(令和元年12月改訂)  
長期的には9,000万人程度でおおむね安定的に推移  
県：2040年に約76万人、2060年に約62万人達成を目指す(未改訂)  
※合計特殊出生率：2035(R17)年に1.8、2050(R32)年2.07を達成

### 【取組の基本的視点：第2期秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略】

- ① 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
  - ② 魅力的で安定したしごとの場をつくる
  - ③ 多様なつながりを築き、秋田市への新しいひとの流れをつくる
  - ④ 高齢者が健康でいきいきと暮らせるまちづくりを進める
  - ⑤ 持続可能な魅力ある地域をつくり、安全安心な暮らしを守る(横断的視点)
- ・新しい時代の流れを力にする
  - ・多様な人材の活躍を推進する

改訂版(今回)

基本データ  
R2国勢調査  
R5社人研推計

### 【現状】

- ・R5社人研推計では、本市人口は減少傾向にあり、2020(R2)年の約30万8千人が、2040(R22)年には約25万2千人と、前回推計よりも約8千人上回る緩やかな減少にとどまると推計。  
また、2045年(R27)には約23万6千人、2050年(R32)には約22万1千人と推計。
- ・自然動態は死亡数が出生数を上回る自然減が続いており、減少傾向に歯止めがかかっていない。
- ・社会動態は高校や大学等の卒業に伴う転出が顕著である。
- ・人口構造の面では、年少・生産年齢人口が増加し、老年人口は減少している。  
⇒老年人口割合…2040(R22)年約40%、2045(R27)年には約43%、2050(R32)年には約44%に達すると推計

### 【本市人口の将来展望】

<仮定>  
合計特殊出生率：2030年に1.8(※1)、2040年に2.07を達成(※2)(国と同じ)  
※1国民希望出生率(若い世代の結婚・子育ての希望が実現した場合の出生率)  
※2人口置換水準(長期的に国全体で人口が安定するために必要な出生率の水準)  
純移動率：2030年に若い世代の転入・転出が均衡し、全体で転入超過に転じる。それ以降は、転入超過傾向が続く。

<目指すべき将来人口>  
**2040(R22)年に約27.5万人達成を目指す**

(参考)国・県人口ビジョンにおける目標等  
国：2060(R42)年に総人口1億人程度を確保(未改定)  
長期的には9,000万人程度でおおむね安定的に推移  
県：2045年に約66万人、2065年に約51万人達成を目指す(令和4年3月改定)  
※合計特殊出生率：2040(R22)年に1.8、2055(R37)年2.07を達成

### 【取組の基本的視点：次期総合計画】

- ① 地域産業の活力を高め、働きがいのあるしごとの場をつくる
- ② 県都の魅力を発信し、秋田市への新しいひとの流れをつくる
- ③ こども・若者の希望が叶うまちをつくる
- ④ 誰もが健康でいきいきと暮らせるまちをつくる
- ⑤ 災害に強く、安全安心で持続可能なまちをつくる

時点修正



前回改定時から改善

シナリオ修正



見直し



次期総合計画の戦略を勘案



将来の  
目指すべき姿  
の実現に  
向けた施策等

次期総合計画へ反映

# 秋田市人口ビジョン改訂概要(目指すべき将来人口)について

## 〈 将来展望に関する仮定 〉

### 1 出生に関する仮定

合計特殊出生率が、2030(令和12)年に国民の希望出生率1.8程度、2040(令和22)年に人口置換水準2.07を達成すると仮定

	2020年 (確定値)	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年	2060年
国 (R1.12)	1.33	1.20程度	1.8程度 (国民の希望出生率)		2.07 (人口置換水準)	→			
県 (R4.3)	1.24				1.8程度 (国民の希望出生率)			2.07 (人口置換水準)	→
市仮定値	1.23	1.63	1.80	1.93	2.07	→			

### 2 死亡に関する仮定

社人研の仮定と同一のものとする。

### 3 純移動率の仮定

全年代のうち、転出超過が顕著だった15～19歳、20～24歳において、5年後の2030(令和12)年までに、転入・転出が均衡し、全体では転入超過に転じると仮定する。それ以降は転入超過が続くと仮定する。

## 〈 目指すべき将来人口 〉

(単位：人)

	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年	2060年
目指すべき将来人口(案) (R8.3秋田市人口ビジョン)	307,672	298,718	290,972	283,003	274,819	266,277	257,944	249,638	241,728
目指すべき将来人口 (R3.3秋田市人口ビジョン策定時)	306,347	295,667	284,630	273,227	260,987	249,039	237,653	227,243	217,791
社人研推計(R5)	307,672	295,501	281,852	267,486	252,336	236,543	220,767	204,723	188,485

